

待機児童対策について

村田 俊太郎 議員

問 保育の受け皿対策を進めても待機児童が減らないのは、保育士不足が原因の一つとされ、本市でも2年目を迎えた矢田認定こども園で未だ定員を満たさない。保育士確保のため、県事業の活用と共に、折角本市の採用試験に臨まれる保育士に対し、不採用でも来年に繋がる本市独自の制度を設けるべきだと考えるが、市長のご所見は？

答 待機児童解消に対しましては、保育士の確保が必要不可欠であることは十分認識しております。ご提案頂きました県事業の活用や不採用になった保育士に対する市独自の制度につきましては、すぐに検討するように担当課へ指示いたします。今後も待機児童解消に向けて保育士確保に最大限の努力をしまいたいと考えております。

高齢者の外出支援について 補聴器購入について

上田 健二 議員

問 本市の65歳以上の高齢化率は31%です。①地域公共交通総合連絡協議会で、デマンド交通システムについて議論され、タクシー関係機関からどんな意見が出されたか。②国の法改正を受け、お買物バスの普及に力を入れるべきだがどうか。③100円シルバーカードの実施はどうか。④加齢性難聴者の補聴器購入補助はどうか。

答 ①安い運賃で市が実施すると事業者には脅威となり、タクシー助成が出来ないかという意見がでました。②お買物バスが出来ないか移動手段を検討します。③長寿社会を反映し財政的負担増が予測されシルバーカードの実施は困難です。④補聴器購入補助は、現時点では実施できませんが、今後県内他市の動向を注視します。

近鉄平端駅東側の整備の現状について

西川 貴雄 議員

問 平端バイパスの実現については、一向に進む気配がない為、市の事業として筒井長安寺線の先線整備と併せて平端駅東側に駅前広場を整備し、地域の活性化、賑わいづくりをスタートさせる必要があると考えるが、市の考え方を問いたい。

答 市は、平端駅の周辺状況が変化しつつあることから、駅東側のまちづくりを検討する良い機会ではないかと考えており、都市計画道路「筒井長安寺線」の先線整備と併せて、新たに平端駅東側に駅前広場を整備し、周辺施設を結ぶアクセス拠点として、そして周辺地区の活性化につながる賑わいづくりの機運醸成を目指したい。

・他の質問項目：中・高齢者の体力増進と医療費削減について

高齢者の外出支援について

吉川 幸喜 議員

問 高齢者の運転免許の返納、買い物、医療機関への通院など高齢者の外出支援問題が深刻化してきています。高齢者の外出支援として、高齢者に特化したデマンドタクシーを導入できないか、高齢者の外出支援の見解をお聞かせください。

答 高齢者に特化したデマンドタクシーの導入は、長寿社会を反映し財政的負担が増加している状況から現時点では難しいと考えております。今後の方向性として、ボランティア団体や地域の助け合いの中で、高齢者のための移動手段を確保していくことも今後重要性を増し、地域福祉計画の中で、高齢者の外出支援が行なえないか、地域の実情に応じた支援を考えております。

学科指導教室「ASU」について

堀川 力 議員

問 学科指導教室「ASU」が入っている城址会館については、老朽化が著しく耐震補強もできていませんが、県指定文化財でもあり、早期改修が困難なため移転に適した施設・場所について検討を進めておられます。現在の状況と今後のスケジュール及び移転後の城址会館の活用についてお聞きします。

答 学科指導教室「ASU」の移転先については、市有地の3箇所から不登校の児童・生徒が通う学校としての選定を行っており、本年度中に決定し次年度から3ヶ年程度で整備・移転を予定しております。また、城址会館の活用については、歴史的建造物としての価値をより高める整備活用計画を検討したいと考えております。

大和郡山市の今後の都市計画について

大垣 良夫 議員

問 人口減少、少子高齢化による、まちの賑わいの喪失が懸念される中、リニア新駅や大和北道路などの基盤整備が進みゆく状況において、企業誘致などの産業振興といったまちの活性化施策が重要と考えるが、今後のまちづくりの考え方、今後の都市計画についてお聞きします。

答 昨年は大和郡山市立地適正化計画を策定し、今年度は総合交通戦略を策定予定です。コンパクトシティのまちづくりと連携した交通施策を展開して参ります。そして、令和2年度に改定予定である都市計画マスタープランにおいて、京奈和自動車道の沿道周辺地区における活性化施策への対応としては、民間活力による新たな産業振興の可能性に対応できるよう、検討して参ります。